

大腸がん検診 正しい採便方法

正しい検診結果を得るには、正しく便から検体を採取（採便）することが重要です。検診キットに添付されている説明書等をお読み頂くほか、次の点にご留意ください。

<大腸がん検診とは>

- 大腸にがんがあると、腸から出血することが多いことが知られています。この大腸がん検診は、便の表面に付着した血液の有無を調べることにより、がんにかかっている可能性を調べるスクリーニング検査です。
- 2日間にわたり、1日1回の便から検体を1個採取します。（2日間で2個採取）
- 採便後は、できるだけ冷暗所で保管し、検体2個を揃えて指定された場所に提出します。

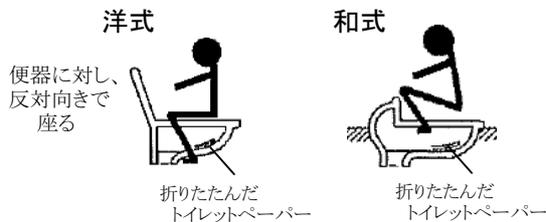
1. 便のとり方

（注意）排便時、便が水に触れると血液が水に溶け出し、正しい結果が得られなくなります。便は、水に触れないようご注意ください。（便のとり方の例）

○検査キットに専用ペーパーが付属している場合



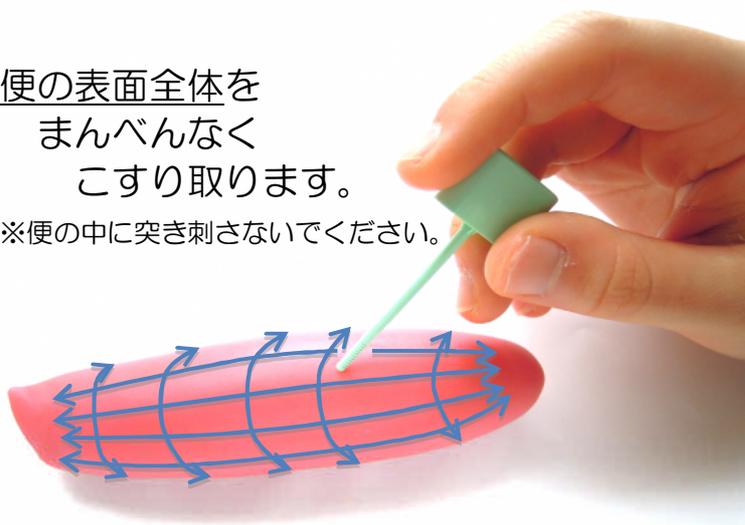
○検査専用ペーパーが付属していない場合



2. 検体採取（採便）の方法

便の表面全体をまんべんなくこすり取ります。

※便の中に突き刺さないでください。



1日目の便

2日目の便



+



=>

すみやかに
2個提出

※検体提出時も、直射日光や高温な場所を避けてください。

採便後の検体は、冷暗所に保存

※検査キットは、さまざまな種類があるため、写真と異なる場合があります。検査キットに説明書が付属している場合は、説明書をよくお読みください。便が出にくい時などでお困りの場合は、がん検診の担当者へご相談ください。

1日1回の便から検体を1個採取します。（2日間で2個採取）

<注意>

- 生理中は、採便しないでください。
- 1個の容器で、2日分の採便をしないでください。
- 採取する便の量は、これくらいが適量です。



※便の付着が多すぎると、正しい結果が得られないことがあります。

年 月 日

様

市町村名 _____

大腸がん検診結果通知書

過日実施しましたあなたの検診結果は、次のとおりでしたのでお知らせします。(○印があなたの結果です。)

1 便潜血陰性

ア 精密検査不要

提出していただいた検体では、便潜血検査は陰性でした。

これからも年1回は検診を受けられるようお勧めします。

また、自覚症状がある時は、早い時期に医療機関にご相談されるようお勧めします。

イ 問診要注意

提出していただいた検体では、便潜血検査は陰性でした。

しかし、問診において大腸の病気に注意が必要と思われるので、医療機関の受診をお勧めします。

2 判定不能

検体条件不良のため、検診結果判定不能でしたので、再度検診を受けられますようお勧めします。

年 月 日

様

市町村名 _____

大腸がん検診結果のお知らせ

先日あなたが受けられました大腸がん検診の結果、精密検査を受けられるようお勧めします。

なお、精密検査をお受けになるときは、別紙の名簿のうち、希望される病院に前もって検査の日時などについてご相談の上、その指示によって検査を受けてください。

また、検査当日は、次のことに気をつけてください。

- ※ 同封の紹介状をお忘れなく主治医に提出してください。
- ※ 保険証を必ず持参してください。

※ この通知を受け取られた方は、便潜血検査が陽性であった方です。精密検査の結果、異常のない場合もありますので、念のため申し添えます。

※お願い

平素から大腸がん検診に御理解、御協力いただき、ありがとうございます。検診結果は次のとおりでしたので、精密検査をお願いします。つきましては、御面倒ですが、精密検査の結果を御記入の上、御返送いただきますようお願いいたします。

大腸精密検査紹介状

主治医様

年 月 日

市町村名 _____

(1) 一次検診結果

検診機関 ()	検査方法	2日法	
受付年月日 年 月 日 ()番	検査結果	検体1	検体2
検査年月日 年 月 日	問診内容		
氏名 性別 ()	判定		
生年月日 年 月 日 ()歳			

(2) 精検結果 [先行して実施した方法に◎印、実施した方法に○印を付けてください。]

1 精検方法

1. 全大腸内視鏡検査 2. S状結腸内視鏡検査 3. 注腸X線検査 4. 生検組織診
5. 内視鏡的切除 6. その他の検査() 7. 検査拒否(注腸・内視鏡)

2 臨床診断

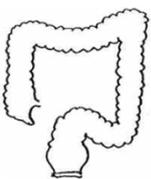
(注腸X線検査)

(結果)

(内視鏡検査)

所見の部位 病変部位をチェックしてください

①直腸
②S状結腸
③下行結腸
④横行結腸
⑤上行結腸
⑥回盲部
(a. 盲腸 b. 中垂 C. 回腸末端)
⑦その他 ()



1. 大腸がん

A. 早期

1. 隆起型 (I) ()

2. 表面型 ()

3. 陥凹型 ()

B. 進行

2. 大腸がん疑い

3. ポリープ (A. 単発 B. 多発)

a. 腺腫

①直径10mm以上

②直径10mm未満

b. 非腺腫

c. 不明

4. 大腸憩室

5. 潰瘍性大腸炎

6. クロウン病

7. 痔

8. その他 ()

9. 異常なし

所見の部位 病変部位をチェックしてください

①直腸
②S状結腸
③下行結腸
④横行結腸
⑤上行結腸
⑥回盲部
(a. 盲腸 b. 中垂 C. 回腸末端)
⑦その他 ()



(3) 今後の方針

1 再検診 () 月後

3 他医療機関紹介先 ()

2 治療

① 否

② 要

イ-a. 内視鏡的治療

イ-b. 外科手術

ロ. 内科的治療

ハ. 経過観察 () 月後

ニ. その他 ()

大腸がん注腸読影委員会	
医師名	読影会印
医師名	
医師名	

来院	年月日	診断	年月日	来院	年月日	診断	年月日
精検				精検			
医療機関				医療機関			
医師氏名				医師氏名			

